この人に聞く

ジャトー株式会社 社長 小野 謙治氏 ㊤

小野謙治氏は2009年に代表取締役社長に就任、社内分社体制の構築や最新技術の導入を進めてきた。昨年11月には音響・テクノロジー・リサーチセンターを開設、新時代の技術開発にも注力している。小野社長に近年の技術進化や25年大阪万博への期待、同社で取り組む働き方改革などについて聞いた。

ジャトー株式会社は1946（昭和21）年創業、大阪城ホールや市立吹田サッカースタジアムなど、全国の大規模ホール・劇場・競技場などの音響設備の設計施工をはじめ、大阪メトロ全駅、各インフラ施設の放送システム、ホテルの客室管理システム、デジタルサイネージ（電子掲示板）の開発施工など、「音響・通信・セキュリティ・情報」の分野で事業を広げている。

「音響・通信・セキュリティ・情報」システムのエキスパート

小野謙治ジャトー社長

――全国の主要なホール、劇場などに音響システムを納入しておられます。最新の音響システムの進化についてお聞かせください。

小野　最近では音響設備のデジタル化が進み、音質や操作性が飛躍的に向上しています。例えば、現在主流のラインアレイスピーカーは長距離でも音が小さくなりにくく、ホールの隅々まで均一な音を行き渡らせることができます。さらに当社ではホールの形状や材質に合わせてシミュレーションを行ない、最適なスピーカー配置と音質の調節を行なっています。加えてマイクや楽器の音量・音質の調節を行うミキサーも小型化と操作性の向上が進み、タブレット端末で客席などから遠隔操作することもできるようになりました。

当社では、旧型の設備をこうした最新型にリニューアルしたいというご要望も多く承っており、最近では大阪城ホールの音響設備を約20年ぶりに改修し、最新の設備に刷新しました。天井から吊り下げたスピーカーは大幅に軽量化され、音質もより一層向上し、明瞭度もアップしています。

また昨年当社が開発した「音響出力マネジメントシステム」はスピーカーの出力レベル、バランス、インピーダンス（電気抵抗）、アンプの温度を監視・制御できます。これらをデータとして収集・記録することで、音響システムがダウンする兆候を察知し、回避することができます。第1号として東大阪市花園ラグビー場に納入させて頂きました。

――ホテル向け設備も1972（昭和47）年から手がけておられます。

小野　リネン、客室、フロントなどを結び、各現場担当者をスムーズに連携させるシステムに加え、放送、空調、照明などあらゆる設備を納入しています。チェックインの際に、部屋にカードキーをセットすれば部屋の電源が入るシステムは当社が最初に開発しました。

また最近ではお客さまに応じて最適な客室環境を提供する仕組みづくりに取り組んでいます。例えば客室で仕事をしたいお客さまには照明を明るくし、集中力を高めるような香りを出し、リラックスしたい場合は照明を暖色系にして、ラベンダーの香りに変化させます。この技術は現在、企業の保養施設でVIP用のゲストルームに採用され好評を頂いています。当社ではそのデータを蓄積して、さらに改良を進めています。

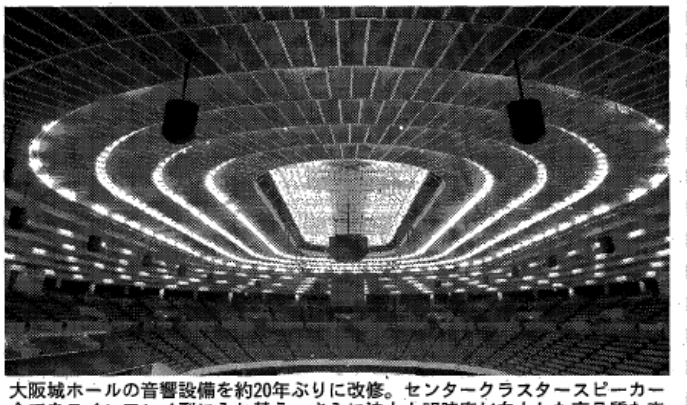
――デジタルサイネージ（電子看板）にも注力されています。

小野　デジタルサイネージは今でこそ街中でよく見かけるようになりましたが、当社は10年以上前の黎明期から開発に取り組んできました。最近ではLED による高精細化、大画面化が進んでいます。先日も都内の一流ホテルに300インチの超大型デジタルサイネージを納入させていただきました。

当社が専門的に手がけているのは、特定用途向けのデジタルサイネージです。例えばホテルのロビーなどで館内マップを表示させることや、当日の宴会や催し物の一覧を表示させたり、お客さま自身が操作して必要な情報を表示させたりすることもできます。また現在、音声での問いかけに応える製品なども開発中です。当社では自社開発のソフトを使い、施設に合わせて最適な表示レイアウトやプログラムを構築できるので、大変ご好評をいただき、多くのホテルや商業施設などに納めさせて頂いています。

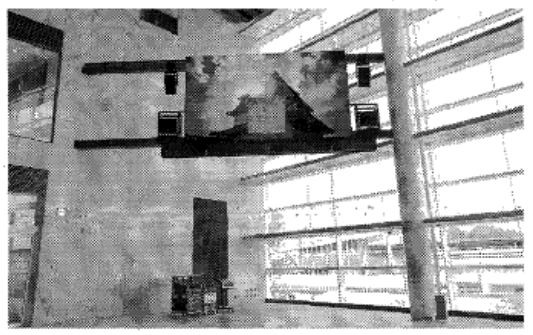
――1970年の万博では日本政府館、米国館、ソ連館など35のパビリオンに特殊音響設備を納入し、飛躍されました。2025年に誘致を目指す大阪万博への期待をお聞かせください。

小野　当社は1970年当時から事業分野を大きく拡大してきました。誘致が実現すれば、パビリオンの音響だけでなく、映像やセキュリティ分野、ホテル向け設備でも貢献できると考えています。関西の企業として十分にお役に立てるよう、より一層技術を磨いてまいります。（6月4日号㊦に続く）



大阪城ホールの音響設備を約20年ぶりに改修。センタークラスタースピーカー全てをラインアレイ型に入れ替え、さらに迫力と明瞭度が向上した高品質な音が出るようになった。加えて大幅な軽量化に成功。出演者側が持込機材を天井に吊るすキャパシティーも増えた

全国の大規模ホール、劇場、競技場の音響設備を設計施工



JR明石駅前の「あかし市民広場」に設置した最先端の大型液晶ビジョン。広場では様々なイベントが催され、ジャトーの音響・映像・照明システムが、市民レベルからプロレベルまで幅広いニーズに応えている。イベントのないときには地元ケーブルテレビの番組や観光情報などを発信し、市民の身近な情報源として親しまれている

小野謙治（おの・けんじ）氏の略歴

1994年第一経済大学（現日本経済大学）卒業。4月松下電器産業（現パナソニック）入社。97年4月ジャトー入社、2009年2月代表取締役社長就任。

1971年9月生まれ、46歳。大阪府出身。